

Stand upアマチュアルール対比表

Stand up Aクラス					
	試合時間	出場資格	延長戦	防具	反則技
・トーナメント	2分 決勝戦3分	一般部	1回有り。 延長戦1分。 ※延長戦はマストシステム	・グローブ ・ヒザパット ・マウスピース ・金カップ ・スネパット	・顔面ヒザ蹴り ・頭突き ・ヒジ打ち ・バックハンド ・故意による金的攻撃 ・投げ技
・ワンマッチ	2分×2R		無し(引き分け有り) ※インターバル30秒		
Stand up Bクラス・Cクラス					
・トーナメント	1分30秒×1R	小学生部 中学生部 女子部 一般部 マスターズ	1回有り。 延長戦1分。 ※延長戦はマストシステム	・ヘッドギア ・グローブ ・マウスピース ・金カップ ・ヒザパッド ・スネパット ・胴当て ※一般部トーナメントは無し ※Bクラス一般部は無し ※マスターズは自由選択 ※Cクラスは着用義務 ※小学生/中学生部は着用義務	・目突き ・噛みつき ・倒れた相手への攻撃 ・背後からの攻撃 ・故意に場外へ逃げる事 ・試合着をつかんでの攻撃 ・やめの合図後の攻撃 ・場外での攻撃 ・主審又は相手選手に対して 侮辱的あるいは攻撃的言動 ・チャレンジCクラスでは顔面への パンチ禁止
・Bクラス ワンマッチ	1分30秒×2R		無し(引き分け有り) ※ラウンド制はインターバル30秒		
・チャレンジBクラスワンマッチ	1分30秒×1R				
・Cクラス ワンマッチ	2分×1R		無し(引き分け有り)		
・チャレンジCクラスワンマッチ (顔面へのパンチは禁止)	2分×1R				
共通	<勝敗はKO、ダウン2回によるKO勝ち、判定勝ち、TKO勝ちにより決定される。>				
	a. KO(ノックアウト)	①パンチ・蹴りによる攻撃で5秒以上のダウン。 ②二度のダウン。 ③審判が危険と判断したとき。 ④有効な加撃が認められ一方的なダメージを与えたとき。			
	b. ダウン(1.5点)	①パンチ・蹴りによる攻撃で一時的にダウンし、立ち上がったとき。(ダウンカウント5秒以内に立てない場合はKOとなる。) ②立っている状態でも、一方的なダメージを与えたときはスタンディングダウンとなる。 ③ダウンは2回でKO勝ち。			
	c. 判定勝ち	①KOによる勝敗が決まらず審判の採点によって勝敗を決定するとき。(優勢点は0.5~1点以内) ②ポイント制では獲得ポイントの多い方が勝ち。(最大8ポイント先取)			
	d. 引き分け	①判定で主審・副審の2票以上の判定がないときは、引き分け。 ②両者が同時に倒れ、双方とも5秒以内に立ち上がらないときも、引き分け。 ③ポイント制では獲得ポイントの同点の場合。			
	e. 減点	①反則を行ったときはまずは注意をあたえ、次に警告、さらに反則を行ったときに減点1点とする。減点3点で失格。 ②悪質な反則のときは、注意1回でも失格となる場合もある。			
	f. 失格	①偶発的な金的攻撃でダウンし、30秒の休憩後、試合が続行出来ない場合。 ②呼び出しても試合場に現れないとき。 ③レフリーの指示に従わない場合			
	g. TKO勝ち	選手が負傷、又は失格、棄権により試合を続行することが出来ないときは、次の各項によって勝敗を決定する。 ①負傷の原因が相手の反則による場合は、負傷者の勝ち。(反則者の失格) ②負傷の原因が負傷者自身の不注意による場合は、相手選手の勝ち。(負傷者の失格) ③負傷の原因が双方の偶発発生による場合は、試合を続行できる選手の勝ち。 ④選手の方が著しく優勢のときは、主審の判断により試合終了を待たずに勝ちとする。 ⑤選手が負傷し、試合続行不可能と主審又は大会医師が判断したときは、試合を続行できる選手の勝ちとする。 ⑥相手選手にダメージがあり棄権したとき、又は戦意を失わせたとき。 ⑦相手選手のセコンドよりタオル投入があったとき。			
	h. TKO勝ち(出血)	選手が出血し(鼻血等の出血)、ドクターの診断を受け、止血した場合は試合を続行するが、その後再度出血した場合。			
	i. 禁止行為	①法的禁止薬物使用での参加 ②相手選手やセコンドに対する野次や冒流行為。			
j. Stand up Cクラス	①相手に対しクリーンヒットさせ、ダメージを与えると判断された攻撃を1ポイントとする。 ポイントの判断は、審判3名又は主審/副審がジャッジを行い、2票以上の判定でポイントとする。 ②8ポイント先取にて、判定時ポイントが多い方が勝ちとする。 ③膝蹴りはポイントとならない。 ④掴みは禁止。				
敗者復活	トーナメント準決勝で勝者となった選手が試合続行不可能なときは、敗者復活として負けた選手が決勝戦に出場する権利を得る。				
有効技	パンチ	ジャブ、ストレート、フック、アッパー			
	蹴り	前蹴り、廻し蹴り系、横蹴り、後ろ蹴り、後ろ廻し蹴り、内股への蹴り、飛び蹴り、ヒザ蹴り(顔面は禁止)、胴廻し回転蹴り、かかと落とし			
	掴み (Cクラスは除く)	①両手/片手で組んでのヒザ蹴りは1回のみ ②蹴り足を掴んでの攻撃は1回のみ			

※上記にない項目は、Stand up試合規約に準ずる